

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2019-2207
(P2019-2207A)

(43) 公開日 平成31年1月10日(2019.1.10)

(51) Int. Cl.		F I		テーマコード (参考)
EO4H 9/16 (2006.01)		EO4H	9/16	P 2E139
EO4D 13/00 (2006.01)		EO4D	13/00	F 2E184
A62B 35/00 (2006.01)		A62B	35/00	D

審査請求 有 請求項の数 2 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願2017-118100 (P2017-118100)
(22) 出願日 平成29年6月15日 (2017.6.15)

(71) 出願人 510214676
有限会社森下商会
岐阜県高山市荘川町牧戸104番地の1
(74) 代理人 100124419
弁理士 井上 敬也
(74) 代理人 100162293
弁理士 長谷 久生
(72) 発明者 森下 和也
岐阜県高山市荘川町牧戸104番地の1
Fターム(参考) 2E139 AA03 AB16 AC12 DA08 DA40
DC16 DC20 DC23 DC30
2E184 LA02

(54) 【発明の名称】 融雪屋根パネルブロックの配管構造、及び水蒸気経路切り替え構造

(57) 【要約】

【課題】 工場の屋根のように屋根自体の面積が大きくなった場合であっても、融雪屋根パネル単体に加え、融雪屋根パネルブロック毎に供給する水蒸気の流れを切り替えることで、水蒸気等の熱エネルギーを有効に利用することができる融雪屋根パネルブロックの配管構造、及び水蒸気経路切り替え構造を提供すること。

【解決手段】 水蒸気を供給するための主配管20と、主配管20の途中に配置する複数の配管分岐部30と、配管分岐部30から融雪屋根パネルブロック10に水蒸気を供給するための分岐配管40を備えており、融雪屋根パネルブロックの下端に位置する一枚の融雪屋根パネルに設置した融雪完了時感知部材50と、配管分岐部30に設置した切り替え部材60を備えていることを特徴とする融雪屋根パネルブロック10の配管構造及び水蒸気経路切り替え構造とした。

【選択図】 図1

